

## 函館市交通事業経営ビジョン進行管理

### 函館市交通事業経営ビジョン進行管理全体総括(令和6年度)

#### 【これまでの総括】

経営ビジョン計画期間の平成29年度から令和3年度の前期5か年では、軌道や電路の改良、停留場へのスロープ設置のほか、事故防止に係る研修や訓練を行うなど、安全性の向上に向けた取り組みを進めました。

また、1両の超低床車を導入し、11両の車体改良を実施したほか、乗務員への接遇研修の実施やICカードの活用を図るなど、快適性や利便性の向上へ向けた取り組みを進めました。

効率的な組織づくりの取り組みとしては、交通部事業課および電車乗務員養成所における職員数の見直しを行いました。

令和4年度の間見直しでは、令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の深刻な影響を受け、乗車料金収入が激減したこと等を踏まえ、財政計画を中心とした見直しを行いました。その後は、改訂したビジョンに基づき、安全性・快適性・利便性の向上に向けた取り組みを計画どおり推進しました。

令和5年度には、電車の運行情報をリアルタイムで発信するロケーションシステムを導入し、利便性の向上に取り組んだほか、路面電車開業110周年を記念したイベントを開催いたしました。

そのような中、電気料金や資材価格等の高騰に加え、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなど、想定を超える経営環境の悪化により、本ビジョンの最終年である令和8年度末に多額の資金不足が生じる見通しとなったことから、「函館市交通事業経営ビジョン」の再改訂に着手しました。

#### 【令和6年度の総括】

令和6年度は、軌道や電停、車体の改良工事を計画どおりに進めたほか、乗客需要に見合ったダイヤ改正を実施し、輸送効率を向上させました。

また、再改訂に着手していた「函館市交通事業経営ビジョン」を成案化し、将来にわたる安定した事業運営に向けて、車体広告料金の見直しや新たな定期券の導入について検討しました。

令和6年度決算は、インバウンドを含む国内外の観光客増加に伴い、運輸収益が増加したこともあり、経営ビジョンの財政計画を上回りました。

### 基本方針および施策目標の取り組み状況(平成29年度～令和6年度)

上段:評価件数 下段:割合

基本方針および施策目標		「B」 評価 以上	「A」 評価	「B」 評価	「C」 評価	「D」 評価	「-」 評価なし	計
1 安全で信頼さ る公共交通	(1)安全性の向上	4	0	4	0	0	0	4
	計	4	0	4	0	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%
2 サービスで快適な輸送	(1)快適性の向上	2	1	1	0	0	0	2
	(2)利便性の向上	5	3	2	0	0	0	5
	計	7	4	3	0	0	0	7
		100%	57%	43%	0%	0%	0%	100%
3 まちや地域への貢献	(1)地域社会への貢献	3	2	1	0	0	0	3
	計	3	2	1	0	0	0	3
		100%	67%	33%	0%	0%	0%	100%
4 経営基盤の強化	(1)収益力の向上	2	0	2	0	0	0	2
	(2)経営の効率化	2	0	2	0	0	0	2
	計	4	0	4	0	0	0	4
		100%	0%	100%	0%	0%	0%	100%
合計		18	6	12	0	0	0	18
		100%	33%	67%	0%	0%	0%	100%

A : 完了した・計画を上回っている

B : 概ね計画どおりに進んでいる

- : 評価なし

C : 計画を下回っている

D : 著しく計画を下回っている